

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	桶川地域文化振興共同事業体
評価対象年度	令和4年度
施設所管課	文化資源課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされ、安全性が確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	企画展においてブラウザゲームとのコラボレーションを図る、著名人を招いた講演会を実施するなど、集客数の増に繋がる魅力ある事業を実施していた。
	利用状況	A	利用者数が目標を上回った。 (目標)31,400人 → (実績)40,648人
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めていた。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	開館当日の公演・企画展示等の催し情報を発信するデジタルサイネージを館内4箇所に導入する、展示室にWi-Fiを導入するなど、利用者サービスの向上を図っていた。
	利用者の満足度	A	施設に対する満足度が、職員対応、施設双方とも目標に達した。 (目標)職員対応90%以上 → (実績)96.7% (目標)施設自体90%以上 → (実績)96.8%
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、良好である。

特記事項	特に評価すべき点	企画展、他各種事業等、様々な工夫を凝らし、利用者数が目標値を上回った。特に秋に実施した企画展においては、開館以来最高となる1日の入場者数を記録するなど好調であった。 利用者からのアンケートによる評価も良好で、通年、適切な館の管理運営を行ったことを高く評価したい。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	